

学校関係者評価報告書

愛媛県立西条高等学校
学校番号（ 9 ）

評価実施日		令和3年2月26日（金）	
委員	氏名	所属等	備考
	年 森 恭 子	愛媛県教育会評議員	
	押 田 真 一	西条市中学校校長会幹事校 校長	
	曾我部 保 次	西条市総合文化会館 館長	
	高 橋 宏 幸	P T A会長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p><定時制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSH指定の全日制とは異なり、定時制は中学時代、不登校のために、習熟度の低い生徒が多数いる。少人数のクラスでもあるので、一人一人の能力に応じたきめ細かい指導を実施する必要がある。 ・就職希望の生徒の中に学校推薦でなく、縁故就職を希望する者が多く、就職後の待遇の心配がある。ハローワークをもっと積極的に利用すべきではないか。 ・定時制には様々な個性を持った生徒が在籍しているが、ジェンダー（社会的・文化的な性差）教育の観点から女子にスラックスを認めるなど、何か対策を行っているか。 	<p><定時制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学と英語の習熟度の差が特に大きいと思われるので、生徒が放課後や授業前に教科担任に質問をしたり、指導を受けたりする時間を確保していきたい。 ・外国籍の生徒は、日本語の微妙な表現やその意味を十分理解できていない場合もあるので、学校設定科目「JAPAN」を会話力向上に重点を置いたものに改善していきたい。 ・一人でハローワークに行くことに抵抗感を持つ生徒もいるようなので、教員も一緒に訪問するなど利用を促していきたい。 ・定時制には制服がないので、服装については問題はない。ジェンダーに関する研修を今後深めしていきたい。